

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 集中講座	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	山本桂子 松良尚子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人兼関係の基礎的な理論を社会学、心理学、コミュニケーション論等の基礎理論から学習し、応用的には人間関係の諸問題を具体的にとりあげ、グループディスカッションやリポートを書くことを通して考えを深めていく。医療の現場にとどまらず、それらを取り巻く家族、そして現代社会の変化にも注目しながら人間関係の様々な問題について考えていく。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験、授業中のコメントカード、発表などの授業への参加度、及び提出物や授業態度等の平常点で総合評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特に指定しない。授業内で資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
配布された資料をよく読んで予習すること。また、授業後は資料を再度熟読することで疑問点などを調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
発表やグループディスカッションでは多くの意見や疑問を交換しあえるよう積極的に参加すること						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	社会的存在に気付けけるようになる		配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける 授業予定	授業の進め方・評価の説明、関係的成長(人間関係の図)			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	相互理解について説明できるようになる		配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける 授業予定	言葉で伝える			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	人間関係論の基礎理論について説明できるようになる		配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける 授業予定	組社会化と社会的相互作用			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	人間関係の発達について説明できるようになる		配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける 授業予定	自己の発達とアイデンティティ			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	対人コミュニケーションについて説明できるようになる(1)		配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける 授業予定	言語・非言語こきゅにケーションの基礎			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	対人コミュニケーションについて説明できるようになる(2)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	CSIテスト/コーチング理論		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	援助的なコミュニケーションの技法について説明できるようになる	配布R資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	カウンセリング技法		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	組織とチームのためのコミュニケーション方法について説明できる(1)	DVD	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	ビデオ視聴		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	組織とチームのためのコミュニケーション方法について説明できる(2)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	設定されたテーマについてのディスカッション		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	組織とチームのためのコミュニケーション方法について説明できる(3)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	アサーション度テスト/アサーション・トレーニング		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	チーム医療について説明できるようになる(1)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	チームワークとチーム医療		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	チーム医療について説明できるようになる(2)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	医療安全のためのコミュニケーション コミュニケーションエラーとSBAR		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(1)	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	患者・家族を支える人間関係/終末期		
第14回	講義 形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(2)	DVD	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	ビデオ視聴		
第15回	講義 形式	授業を通じての到達目標	講義内容の総復習	配布資料	資料を熟読し、復習
		各コマにおける授業予定	まとめ試験		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 集中講座	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	山本桂子松良尚子	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人兼関係の基礎的な理論を社会学、心理学、コミュニケーション論等の基礎理論から学習し、応用的には人間関係の諸問題を具体的にとりあげ、グループディスカッションやレポートを書くことを通して考えを深めていく。医療の現場にとどまらず、それらを取り巻く家族、そして現代社会の変化にも注目しながら人間関係の様々な問題について考えていく。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験、授業中のコメントカード、発表などの授業への参加度、及び提出物や授業態度等の平常点で総合評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
特に指定しない。授業内で資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
配布された資料をよく読んで予習すること。また、授業後は資料を再度熟読することで疑問点などを調べる。						
《履修に当たっての留意点》						
発表やグループディスカッションでは多くの意見や疑問を交換しあえるよう積極的に参加すること						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの課題点を挙げることができる		配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション演習			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションを活性化させることが出来る		配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション演習			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技法を活性化させることが出来る		配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション演習			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技法を活性化させることが出来る		配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション演習			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション技法を活性化させることが出来る		配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション演習			